



本ばこ

—新刊教材・図書紹介—

「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。誌面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っていると便利な図書・資料」などを取り上げます。

※データ凡例 1 著者 2 出版社 3 刊行年月 4 ISBN 5 判型・ページ数 6 定価 7 その他

「おしゃべり」を通して日本語の世界を広げる

『にほんご宝船 いっしょに作る活動集』

『にほんご宝船 教える人のための知恵袋』



データ

1 春原憲一郎、中村律子、谷啓子、那覇麻礼
 2 アスク語学事業部 (〒162-8558 東京都新宿区下宮比町2-6 TEL.03-3267-6866 FAX: 03-3267-6868 URL: http://www.ask-digital.co.jp/)
 3 2004年5月19日 4 知恵袋: 4-87217-554-9 活動集: 4-87217-553-0 5 知恵袋: B5判120ページ 活動集: B5判 112ページ 6 知恵袋: 2,100円 活動集: 1,050円

になっています。

この二冊は、日本の地域社会だけでなく、様々な日本語教育の中でも、広く交流を前提として話す活動をするために利用できると思えます。また、日本語教育のあり方を見直してみるための材料として使うこともできるでしょう。

▽双方向の交流をめざして

この教材の中では、50の活動が紹介されています。それぞれの活動は、ことばの意味の確認からはじまって、それぞれが話題について持っている情報や経験を話したり、活動集に書き込んだりするものです。さらに発展活動のアイデアも示されています。

これらの活動は、どこからはじめても、どの

順番で行ってもよく、周囲の人たちと交わりながら、共同で完成していくことを前提としています。それぞれの活動では、身近な生活、社会的な問題、お互いへの興味・関心、そして日本語そのものなど、幅広くみんなが話したくなるような話題を取り上げています。

また、インターネット上この本のサイトが用意されていて、本の利用者が新しいアイデアを送り、みんなで共有していくことも目指しています。

▽くゆるやかな隣人関係を 作っていくために

この二冊は、日本の地域社会に住む外国人が日本人との交流を通して日本語を学んでいくための活動を紹介しています。『知恵袋』となっている青い本が、「教える」立場の人への解説用に、『活動集』となっている赤い本が活動で実際に使う教材として作られています。

この本の作者は、「ことばを学習するとき、何が大切で何を優先させるかということについて、教科書や先生や日本人が一方向的にきめるのはやめようと思いました」と語っています。つまり、そこに集まった日本語を学ぶ人と日本語を話す人が同等の立場で「おしゃべり」することが目指されています。「おしゃべり」というのは、よく「勉強の邪魔だ」と思われがちです。でも、この本ではくゆるやかな隣人関係を作っていくためには、かかせない大切な営みだとしています。そして、活動の中に、お互いを知り合い、交流していくための「おしゃべり」の機会をたくさん盛り込んでいます。また、その「おしゃべり」をするために必要な文法項目、文字なども、整理したり確認したりできるよう



『活動集』 P. 52

『活動集』 P. 53

適切な表現で文章を書く技術を身につける

『日本語を書く楽しみ』

データ

1 神田靖子、山根智恵 編著、入江さやか、佐尾ちとせ、米澤昌子 執筆、川村千絵 執筆協力
2 発行：西日本法規出版（〒700-0035 岡山県岡山市高柳西町1-23 TEL.086-255-2181 FAX.086-255-6324 URL <http://www.nishinihonhouki.co.jp/> 発売：星雲社（〒112-0012 東京都文京区大塚3-21-10 TEL.03-3947-1021 FAX.03-3947-1617 3 2004年3月30日 4 4-434-04407-9 5 B5判200ページ 6 2,310円

日本語で文章を書けても、書いた文章の構成や表現に自信がなく、悩む人は少なくないと思います。この教材は日常でよく使われる様々な文章の構成や表現形式（文章の種類による言葉の使い分け、言い換え、感情表現、省略など）が詳しく書いてあります。

本教材は全部で10課あり、取り上げている文章は「説明文、感想文、会話文、意見文、要約文、広告文、エッセイ、レジュメ、インタビュー記事、手紙・メール」の十種類です。第1課の「説明文」を例に課の構成を紹介します。課

の表紙：説明文の文章例と、その課の学習要点が書いてあります。1. 振り返り：書く前に、問題形式で、説明文についての知識や経験について振り返ってみます。2. 基礎知識：説明文でよく使われる表現などについて、どれくらい知っているかを確認します。3. 説明文とは：説明文の特徴について説明します。4. 説明文を書くために：説明文の構成、表現形式、具体的にどのような言葉や表現を使えばよいかを示してあります。5. 練習問題：説明文の構成、言葉、表現に関する練習問題です。6. 書いてみました：日本語学習者が書いた説明文の実際例を挙げ、分析し、構成上のポイントや間違いやすい表現などについて説明します。7. 書いてみましょう：実際に学習したことを使って書くための問題が載っています。

本教材は中・上級レベル向けのもので、「日本語能力試験」2級以上の漢字や語彙にはルビが付けてあります。ほかに、この教材のWeb版もあるので、「発展課題」に取り組みたい人や作文の添削してもらいたい人は、インターネットを利用するといでしょう。



P. 25



P. 26

意見や考えを文章を書く練習をしたい人に

『日本語留学試験 実戦問題集』

データ

1 佐々木瑞枝監修、EJU日本語研究会著 2 ジャパンタイムズ（〒108-0023 東京都港区芝浦4-5-4 TEL.03-3453-2013 FAX.03-3453-8023 <http://bookclub.japantimes.co.jp/> 3 2004年6月1日 4 4-7890-1167-4 5 B5判 138ページ 6 1,680円

この教材は以下の特色があります。①日本語留学試験の記述問題の形式に沿った練習をする。

②肯定、否定どちらかの立場に立って意見を述べる練習をする。③フローチャートで文章の構成を学ぶ。

この教材は、日本語留学試験への準備として利用する以外に、自分の考えや意見を記述する練習としても役に立つでしょう。

以下、問題4「喫煙問題」を例にとって各問題の構成を説明します。最初に、〈A〉「たばこは健康に悪いから吸うべきではない。」〈B〉「たばこは個人個人の嗜好の問題だから、吸うのは自由だ」という二つの意見が提示され、〈A〉か〈B〉どちらかの立場に立って、その理由を400

字で書くようにとの設問があります。次に、「資料」として、①「たばこが体に与える影響」に関する情報②「たばこと税金との関係」に関するデータが示されます。そのあとに、〈A〉〈B〉それぞれの「解答例」が示され、続く「フローチャート」では、①立場の表明②理由③理由④具体例⑤結論という文章の流れが、〈A〉〈B〉のそれぞれについて示され、最後に、「解答例」で使われる語句の英訳と表現の解説があります。幅広い話題に関する問題が全部で30題あり、3段階のレベルに分かれているので、自分のレベルや興味に合わせて問題を選べます。問題の多くは普遍性のある話題ですが、「首都を東京から移すべきか」のように日本独特の話題もあります。国の事情に合わせて変える工夫をするのもいい

でしょう。また、慣れないうちは「フローチャート」に沿って文章を書いてみるといいでしょう。

「解答例」を読解として利用したり、「解答例」や「資料」を日本事情の勉強に利用することも可能です。



P. 16



P. 17



手軽に「読み」から引ける

『大きな活字の三省堂五十音引き漢和辞典』

おお かつ じ さん せい どう ご じゅう おん び かん わ じてん

データ

- 1 沖森卓也・三省堂編修所編
- 2 三省堂 (〒おもしろくや さんせいどうへんしつじよへん 101-8371 東京都千代田区三崎町2-22-14 とうきょうとちよだくみさきまち)
- TEL.03-3230-9412 FAX. 03-3230-9569 URL http://www.sanseido.co.jp/
- 3 2004年6月10日
- 4 4-385-15951-3
- 5 B5判 1,440ページ 漢字数約6,300字 異体字約1,600字
- 6 5,250円
- 7 付録付き

B5版で厚さ約5センチ、重さ2キロ。持ち運びに便利とはいえません。でも、この辞書を手に取った人は、いつのまにか黙って読みふけてしまいます。その理由は、この辞書が次のような特徴を持っているからでしょう。

まず見やすい。見出しの漢字は一センチ四方の大きさです。画数の多い漢字ははっきり見えます。ちなみに三省堂からは『大きな活字の〜』という辞書が他にも多数でています。赤、灰色で色分けされているため読みやすいのも特徴です。

そして五十音順で探せる。親字（見出しの漢字）は五十音順に並んでいます。例えば「赤」

は「セキ」という音読みで探します。音読みが無い漢字は、訓読みで探します。「峠」は「とうげ」という訓読みしかありませんから「と」の列を探すこととなります。読み方が分からない場合は、普通の漢和辞典と同じように「音訓索引」「総画索引」から探すこともできます。つまり色々な探し方ができるのです。

さらに日本・韓国・中国の漢字使用の違いの説明がある。同じ漢字表記でも意味に違いがあるものはコラムで説明しています。漢字圏の学習者には大いに参考になりますし、読み物としてもおもしろいです。見出しには拼音やハングルも併記されています。

意味の説明は、現代日本での使われ方が中心です。親字の数は6300字で、漢和辞典としては多いとはいえませんが、一般的に用いられる漢字の数としては充分だといえるでしょう。

「ピアノ=洋琴」といった外来語の漢字表記のための『宛字外来語』や『部首名一覧』なども、漢字好きの学習者や日本語教師の助けになるでしょう。



P.1041

語と語のつながりが分かる

『日本語表現活用辞典』

に ほん ご ひょうげん かつ よう じてん

データ

- 1 姫野昌子監修・執筆、柏崎雅世、藤村知子、鈴木智美、花菫 悟、横井雅子、種田美由紀執筆、佐々木礼子、ニョー・ゲイ・フォン 執筆協力
- 2 研究社 (〒102-8152 東京都千代田区富士見 2-11-3 TEL.03-3288-7777 FAX.03-3288-7799 URL http://www.kenkyusha.co.jp
- 3 2004年6月1日
- 4 4-7674-9051-0
- 5 四六判 730ページ
- 6 4,935円

従来の国語辞典は、「語の意味」を記述することを中心としてきました。しかし、この辞典は、日本語を外国語として学ぶ人々のために作られたもので、表現に役立つような、語と語のつながりに着目して作られています。

見出し語は、動詞1,180語、形容動詞類364語、あわせて1,544語を中心にしています。『日本語能力試験出題基準【改訂版】』の「1級語彙表の10,000語」の中から選択され、さらに補充されたものです。25,000を越える例文は、文芸作品、新聞などから採取したものを参考に作例されていて、文章作成の上で参考にする事ができます。

す。また、慣用句、複合語も豊富なのが特徴です。見出し語はひらがなで示されていて、常用漢字以外の漢字には振りがなが付いています。例えば「乱れる」という動詞の場合、どのような名詞を主語にもってくる事ができるでしょうか。「列、秩序、規律、周期、足並み、順番、命令系統、国、世の中、生活、風紀、心、集中力…」など、様々な語が可能になります。この辞書では、見出し語の動詞と組み合わせる事が可能な名詞が意味別に分類されて載っています。さらに文の中で使われ方を示すため、「歩いてるうちに列が乱れてきた。…失恋してから生活が乱れてきた。…」など、様々な例文を載せています。この他、項目によっては、副詞など、その動詞を修飾する語句や慣用句、複合語などが載

っています。形容動詞類が見出し語の場合も、組み合わせる事が可能な語が様々な用例とともに載っています。文を作るとき、参考にすることができます。



P. 620

P. 621

P.11 ~ 13 は国際交流基金の以下の日本語専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

- 古川嘉子、王 崇梁、向井園子、長坂水晶、久保田美子 (執筆順)